

# あぶ

ひまわりホールから  
発信する  
シアター情報誌

ユニークな舞台続々、2015年を回顧する！



ひまわりホール子どもアートフェスティバル2015参加作品より、ペビーピー(京都府)「山ぐるみ形劇 マクベス」(原作:シェイクスピア、構成・演出:根本コースケ)

# REPORT

## 人形劇の旅 ～心機一転「ひまわり子どもアートフェス」～



## ひまわりホール 子どもアートフェスティバル

10月11日～12日、「ひまわりホール子どもアートフェスティバル2015」が開催され、損保ジャパン日本興亜名古屋ビルのひまわりホールほか、会議室を利用した全7会場にて、21作品、29ステージが上演されました。

昨年までの子ども向け人形劇を中心としたプログラムを、今年は人形劇だけでなく影絵、演劇、ダンス、ワークショップなど幅広いジャンルで構成。夜には大人向け公演としてP新人賞2014受賞記念公演、ペビーピー「山ぐるみ形劇 マクベス」を上演。好評を得ました。また、ビル玄関の移動販売コーナーではコーヒー、クレープ、パンに加え、ハンドメイド小物のお店も登場し、街ゆく人も目を留めるおしゃれなマルシェとなりました。

気軽に楽しめるチケットシステムも導入。1作品券、6作品券、11作品券の回数券方式。複数でシェアも可能。ひとり1作品を300円以下で観られるという、フェスティバルならではのお得な企画となりました。

目指したのはファミリーが楽しめる「お祭り」。作品を「観る」、作品に参加して一緒に「踊る」、自分だけのギターやおもちゃを「作る」。体中でアートに触れて遊ぶお祭りです。2日目のお昼には1階ロビーと屋外にて「佐藤小夜子 DANCE LABOLATORY」によるフラッシュモブを決行。初めはあつげにとられていたお昼ごはん中の親子も、スタッフも、次々と参加してポーズを決めます。オフィス街にありながらアートで心が解放される時間と空間ができました。

気軽に作品を観ることができるフェスティバルは初めての人でも舞台芸術と出会う絶好の機会であり、参加する側にとっても新しいアーティストと出会う絶好の機会です。フェスティバルを通じ、他ジャンルのアートや若いアーティストとの交流が生まれ、そしてひまわりホールをより多くの方に知っていただきたいです。

でも、やはりフェスティバルにいちばん大切なのは、観客もアーティストもスタッフもみんながワクワクすること。愛知人形劇センターにしかできない「ワクワク」をもっと…!

愛知人形劇センター企画部長 弓達聡子



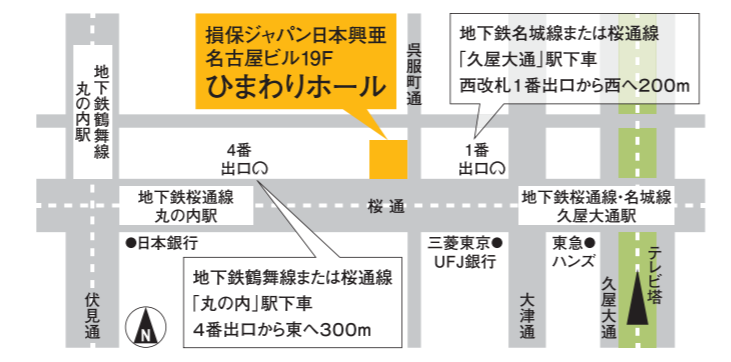
**INFORMATION**  
**P新人賞2015**  
**最終選考作品**  
**決定!**

9月15日に募集を締め切ったP新人賞2015。以下の団体が、2月14日(日)に開催される最終選考上演会に進みます。最終選考上演会では、選考委員と観客の皆さんで、P新人賞1作品と観客賞1作品を決定します。ぜひお問い合わせの上、ご来場ください。

**[P新人賞2015最終選考作品]**  
人形劇団くりきんとん「モーリーの見つつけもの」(大阪府)  
人形劇団サバラ「忘れっぽい天使」(石川県)  
人形劇団望ノ社「DEBRIS」(栃木県)

**P新人賞2015最終選考上演会**  
2016年2月14日(日)14:00開演  
損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホール  
入場料 前売2,100円 当日2,400円

**お問合せ&お申込み**  
特定非営利活動法人 愛知人形劇センター  
TEL 052-212-7229(平日10:00~18:00)  
MAIL:mail@aichi-puppet.net/  
※なるべくメールにてお願いします。



特定非営利活動法人  
**愛知人形劇センター**  
〒460-8551 名古屋市中区丸の内3-22-21  
損保ジャパン日本興亜名古屋ビル8F  
TEL&FAX 052-212-7229  
http://aichi-puppet.net/ MAIL:mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター ひまわりホール情報誌 295 2015年冬号 発行:特定非営利活動法人 愛知人形劇センター 発行人:木村繁 編集人:たかしちげん デザイン:江利山浩二(KINGS ROAD) 編集:小島祐未子(常嶋の編集室) ©愛知人形劇センター ※本誌記事・写真・レイアウトの転載を禁じます。

## Win-Winよりスゴイ!? 対談 日本が誇る“三方よし”の精神



Yasuko Ogiwara **荻原康子**  
(公益社団法人企業メセナ協議会 事務局長)

公益社団法人企業メセナ協議会事務局長、及びプログラム・ディレクター。複数のアーティスト・イン・レジデンス事業の運営・調査に関わった後、INAX文化推進部に所属。1996年よりキュレーター・オフィスにて美術展の企画運営、美術館設立構想等を手がける。2001年、企業メセナ協議会に入局。顕彰事業「メセナアワード」および機関誌「メセナノート」の担当を通じて、500件以上のメセナ活動取材する。近年は、メセナプログラムの評価、企画提案、コンサルティング、文化資源の調査等にも携わる。2011年より現職。

Shigeru Kimura **木村繁**  
(NPO法人愛知人形劇センター理事長)

NPO法人愛知人形劇センター理事長。最近の主な演出は、人形劇団むすび座「父と暮せば」、オブジェクトパフォーマンスシアター「胎児の夢〜ドグラ・マグラより」『乱歩万華鏡』、俳優館「ジュリアスシーザー」「マクベス」など。P新人賞や劇作家と作る人形劇など、若手人形劇人の育成に意欲を燃やしている。

荻原 企業は単に芸術や文化を支援したいのではなく、その先にある豊かな社会を築こうというのがその精神です。近江商人の格言に「売り手よし、買い手よし、世間よし」があります。いわゆる「三方よし」ですが、この経営理念は日本企業が誇るべきものです。生活者とコミュニケーションを深め信頼される会社であることが、製品やサービスを選ぶ際にも基準になってくるのです。

木村 この国のメセナ活動はそんな昔からあるんですね。歌舞伎の世界にも三親切という格言があります。作者は役者に親切で、勧進元に親切で、お客様に親切でなくてははいけない。三方よしはもっと深い哲学的格言ですね。

荻原 企業メセナ協議会(注2)は今、「Creative Archipelago:創造列島」を掲げて、全国の個性豊かな文化を応援しようと取り組んでいます。2020年にオリンピックが東京ですが、同時に各地で、その地方らしい、その企業らしいメセナ活動を展開していこうということです。愛知では2016年にあいちトリエンナーレや国民文化祭もあります。損保ジャパン日本興亜さんと愛知人形劇センターさんが、ひまわりホールを拠点に新しい展開をしていくのを楽しみにしています。

木村 「三方よし」の精神ですね。私たちは、なにしろ力不足で…今いろいろ、宿題ももって勉強しています(笑)。ひまわりホールは定員96名ですが、同じような規模で特徴ある民間のホールはありますか?

荻原 東京の佐藤電気さんがやっている王子小劇場、大阪の商店街が寄付を募って開いた天満天神繁盛亭、規模は違いますが山形のラスクの会社が設けたシベールアリーナ、これらはユニークな民間のホールです。

木村 地域の小劇場として刺激し合っていきたいですね。早速のぞいてみます。

[注]  
※1…長野県飯田市で8月に開催される国内最大級の人形劇イベント。1979年に前身の「人形劇カーニバル」として第1回が開催されて以来、2015年で通算37回を数える。2015年の上演は240劇団、440ステージ。  
※2…企業による芸術文化支援および文化振興による社会創造の推進を目的に、1990年に設立された日本で唯一のメセナ専門の中間支援機関。調査研究、認定顕彰、助成、情報発信、コンサルティング、国際交流等の事業を多面的に行っている。正会員139社、準会員33団体・25名。

愛知人形劇センター理事長の木村繁が、広く芸術文化に精通した識者を訪ねる対談シリーズ。今回は“メセナ”のプロフェッショナル・荻原康子さんにお話をうかがい、企業と表現活動の関係や可能性を探ってみました。

木村 荻原さんには、愛知人形劇センターの法人化にあたり、御専門の立場から数々のご提案をして頂きました。今日はず、人形劇についてどんな感想をお持ちかお聞きしたいのですが?

荻原 この夏、今年は「愛知の人形劇特集」ということもあり、いまだ人形劇フェスタ(注1)を見に行きました。木村さんが演出した『胎児の夢〜ドグラ・マグラより』、愛知の伝統人形「甚目寺説教源氏節もくもく座」、チェコの沢則行さん演出の「岩見沢人-GENE-」、台湾の『創意布袋戯人形』、東京の「指人形笑吉」などを見ました。『胎児の夢』は、ああいう精神世界を人形劇化したことに驚きました。またいろいろな作品や運営を見て、人形劇のイメージがかわりました。

木村 いいだは人形劇の先進事例です。フェスタの運営はどんな印象でしたか?

荻原 海外も含めた上演作品の充実、参加劇団の多さですが、なんといっても驚いたのは全国のアマチュアの人形劇サークルがごぞって集結してきていることです。それに飯田市内のほとんどの中学に人形劇サークルがあって、地元のりんごまつりとも一体化しています。実行委員会の方にお聞きすると、学生ボランティアも含めたスタッフ数が2500人とかで、驚くべき市民参加のフェスティバルです。いまだ人形劇フェスタが鍛えられたのも、ひまわりホールが開設されたのも、1988年に日本で開催した世界人形劇フェスティバルの影響があるのでしょうか?

木村 あの年は30数ヶ国の人形劇団が来日して、ストックフォルム国立人形劇場の「ユビュ王」、イタリアのジョコピータなどに強烈な衝撃を受けました。私の人形劇観が180℃回転しました。次にメセナ活動とは何か、お聞きしたいのですが?